

平成30年度 第1回 高校生川柳 受賞作品 講評

| | | |
|-----|---|----------------------|
| 大賞 | 【句】 下じきで あおげば夏が やってくる | 作) 中野 晴菜 様 (相可高等学校) |
| | <p>【講評】夏が来たからあおぐのではなく、あおいだので夏が来たという順逆の関係に、いつの間にか夏なんだなという季節感がうまく表現されている作品でした。また、うちわではなく下敷きというところで、暑さで火照った顔を懸命にあおぐ高校生らしい姿が思い浮かんできます。近年はインターネットを軸とした情報化が急速に進化しつつあり、便利でもある反面、時代の変化の早さに戸惑うことも多いのですが、この作品はどことなく古き良き時代の懐かしさのようなものを感じさせるものがあります。技巧性が排除された、高校生らしいストレートさが評価されました。</p> | |
| 傑作賞 | 【句】 行事より 写真優先 インスタグラム | 作) 藤原 実由 様 (相可高等学校) |
| | <p>【講評】作品に詠まれているテーマとしては、行事に参加するという「形」よりも、インスタグラムで遊ぶという「中身」を優先する主客転倒の面白さなのかもしれませんが、インスタグラムという単語が入っていることで強烈なインパクトを放っています。デジタルに弱い大人は「インターネットで時代はすっかり変わった」などと少し身構えてしまうのですが、やっていることはスマホで撮った面白い写真を仲間同士で見せ合っただけで、そこにあるものは昔と変わらない高校生どうしの友人関係。それが垣間見えると、何か少し安心してしまふ、そんな作品でもあります。</p> | |
| 傑作賞 | 【句】 小企業 あってはじめて 大企業 | 作) 片山 真斗 様 (古知野高等学校) |
| | <p>【講評】世の中の99%の会社は中小企業です。就業者人口で見ても7割以上の人が中小企業で働いています。作品の意味としては、小があるからその対比として大があるということなのでしょうが、それだけではなく、大企業といえども製造や販売といった営業活動そのものが一社単独ではなく、無数の中小企業を経由することによって成り立っている点を考えれば、たんなる言葉の対比ということだけではなく、実質的にも世の中が大企業だけで成立し得(う)るものではなく、多くの中小企業の活動によって支えられている、そんなことに気づかされる内容でもあります。</p> | |
| 傑作賞 | 【句】 音だけで 花火楽しむ 受験生 | 作) 植田 登哉 様 (星城高等学校) |
| | <p>【講評】「よし、がんばるぞ」と思って勉強を始めると、ドンドン、と聞こえてくる花火の炸裂音。浴衣でも着て友達といっしょに観に行きたいな、そんな誘惑をぐっと断ち切って必死に勉強に取り組む受験生。本人は必死なのでしょうが、どことなく微笑ましい光景でもあります。作品も、その苦闘の様子を詠みながらも、苦しいとか、つらいという言葉ではなく、楽しむという言葉で表現しているところにこの作品のさりとしたうまさも潜んでいるとも言えます。</p> | |
| 傑作賞 | 【句】 窓ガラス 流れ星かな 梅雨の雨 | 作) 愛甲 優太 様 (衣台高等学校) |
| | <p>【講評】梅雨の日。窓も雨滴で濡れている。でも、よく見ると雨は窓に付着してすぐ流れ去るわけではない。雨粒どうしがくっついてから、スーっと下に流れ去って行く。この作品ではその様子を流れ星に例えるというセンスの良さが光っています。この作品から浮かんでくる光景から、メロディーフェアという昔見た映画の主題歌の歌詞を思い出しました。「雨の日、窓ガラスを見つめるあの少女はだれ？雨がスーッと窓ガラスを落ちて行く様子をじっと見ているあの子。人生はこの雨のように流れ去っておしまいなので</p> | |

| | | |
|-----|---|------------------------------|
| | <p>はないよ。メリーゴーランドのようにまわってゆくものさ・・・」この作者は雨を見ながらどんなことに思いを馳せていたのでしょうか。</p> | |
| 傑作賞 | <p>【句】 暑いなと スカートめくり 風仰ぐ</p> | <p>作) 岸 華奈真 様 (啓明学館高等学校)</p> |
| | <p>【講評】 インターネットのおかげでいろいろな情報が瞬時に手に入れられる時代なのですが、男子には女子校の中の様子は依然として謎です。伝統的価値観というものが強かった時代にあっては、男子かくあるべし、女子かくあるべし、とはっきりと役割を演じることが求められており、そこから乖離することは見苦しいこと、はしたないこと、そういう教えを暗黙のうちに受けてきました。しかし現代にあって、そうした価値観はすっかり消滅してしまったのでしょうか。恐らくそうではないでしょう。だからこそ、女子だって暑ければスカートだって何だってうちわ代わりにしちゃうんだよ、というこの作品の面白さが描けるのではないのでしょうか。</p> | |
| 傑作賞 | <p>【句】 実習中 愛しさが増す 牛の声</p> | <p>作) 加藤 樹良 様 (相可高等学校)</p> |
| | <p>【講評】 大切に育てたけれどいつかは食べられてしまう牛。その悲しい運命を思うと、実習という仕事の訓練をする場なのに、ついいたたまれなくなってしまったのでしょうか。牛の姿ではなく、牛の声というリアリティにもこの句のうまさがあります。明治から昭和初期に活躍した詩人中原中也の詩にも死んでゆく牛の声を詠んだつぎのような一節があります。「屠殺所に、死んでゆく牛はモーと啼いた。六月の野の土赫く、地平に雲が浮いていた。」この詩にくらべればこの作品は「愛しさ」という言葉によって作者のこころの純粹さと優しい気持ちが伝わってくる作品になっています。</p> | |
| 傑作賞 | <p>【句】 駅のホーム 線路を超えて 恋芽生え</p> | <p>作) 福井 菜月 様 (相可高等学校)</p> |
| | <p>【講評】 話しをしたことすらない、しかも間近ではなく線路の向こう側、ホームで見かけるだけという距離感が高校生らしい清純さを生み出し、何か青春映画のワンシーンを見るような作品です。ここでは18世紀のイギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの詩の一節を引用します。「決してだれにも愛を語ってはならない。愛とは語られることができないもの。静かに、そしてだれからも見えないようにそよぐやさしい風のように」(原文: Never seek to tell thy love, Love that never told can be; For the gentle wind doth move, Silently invisibly.)</p> | |
| 傑作賞 | <p>【句】 色付箋 教科書に咲く 花畑</p> | <p>作) 伊澤 一夢 様 (星城高等高校)</p> |
| | <p>【講評】 カラフルな付箋が多数ついた教科書、まさに汗と努力の結晶なのですが、これを花畑に例える暗喩のセンスの良さ。何人かの審査員に即座に「きれい」「うまい」と言わせた作品です。ところで付箋の歴史はそれほど古いものではなく、1980年にアメリカの3M社が発売してから瞬く間に世界中に広がった大ヒット商品です。現在では大きさ、形、色、デザインなど非常に多くの種類が存在します。この作品の作者のように、付箋も花が咲いていると思って使えば、もっと楽しく勉強や仕事に取り組めるかも知れませんね。</p> | |

| | | |
|-----|--|----------------------|
| 傑作賞 | 【句】 苦勞して 覚えたけれど テスト出ず | 作) 住友 りりか 様 (星城高等学校) |
| | <p>【講評】 だれでも学生時代にこの苦い経験があることでしょう。多くの審査員がこの作品を候補として選句したことがそれを物語っています。「勉強して損した」という気持ちになるのかも知れませんが、中高時代の勉強というものは直ちに効率の向上とか、利益の獲得に直結するご利益（りやく）のあるものではないかも知れませんが、大学やさらに大人になっていろいろな分野の仕事をしたり、専門的な勉強をしていく上での基礎になる部分です。ですので、テストに関係なく基本を勉強することは大変意義のあること、そう思って勉強に取り組みましょう。</p> | |
| 傑作賞 | 【句】 なおすのは 体じゃない 心の方 | 作) 新井 千香 様 (古知野高等学校) |
| | <p>【講評】 古代の人間も人間存在というものが肉体以外にも何かがあることに気づいていました。古くは紀元前4百年頃のギリシャの哲学者プラトンの靈魂と肉体、近代になってからは17世紀フランスの哲学者デカルトの精神と肉体というように、表現は違うものの、人間とは心と身体によって成り立っているものだと考える二元論です。ほんらい、この心と身体は不可分の存在なのですが、この二元論から肉体と精神を区分し、どちらが重要なのかという議論も派生しました。しかし結局そのほとんどすべてが精神こそがすべてを支配しているのだという議論に落ち着きます。ローマ時代の格言に「健全な精神は健全な肉体に宿る」という言葉があります。これは、一見、肉体を重視している例外のようにも聞こえますが、実は心が大切、いや心こそがすべてであるからこそ、心の住居である体を大切に、健全に保ちましょう、最終目的はあくまで心であることを示唆する内容とも解釈できます。この作品は医療行為に携わる者、あるいはそれを志すものとして、病んだり傷ついたりした肉体を何かのマニュアルに従って処置すればそれでいい、という単純なものではなく、心が持つ重大な意味を忘れてはならない、と主張する内容のように聞こえます。</p> | |